

田中雅仁ファゴットマスタークラス

超高音域の演奏テクニック



4/13(Sat)

13:00 開演

受講料 ¥5,000

聴講料 ¥2,000

※フィンガリングについての細かい講習を行うので、
聴講の方も楽器をご持参ください。

会場：ノナカ・ダブルリードギャラリー Aスタジオ

受講対象曲目

ボザ／レシタティーヴォ、シシリアーノ、ロンド
サン・サーンズ／ソナタより 2楽章
デュティユ／サラバンドとコルテージュ
ジョリヴェ／コンチェルト
ブトリー／アンテルフェランス I

A handwritten signature in dark ink that reads "J. Pichner". The signature is written in a cursive, flowing style.

上記曲目の高音部個所のみを受講対象としますので、それ以外については準備の必要はございません。
他に受講希望の曲があればご相談ください。オケスタも可能です。また、レクチャーやデモ演奏も盛り
込んで行うので、お気軽にご参加ください。

お申し込み・お問い合わせ 03-5458-1541

主催：ノナカ・ダブルリードギャラリー 協賛：野中貿易(株)、ピュヒナー社

田中雅仁 (Masahito Tanaka)

東京都出身。桐朋学園、ニューイングランド音楽院を最優秀の成績で卒業。後、ボストン大学、アムステルダム・スウェーリンク音楽院に学ぶ。故戸澤宗雄、故S. ウォルト、M. ルジェロ、J. モスタード各氏に師事。また指揮法をR. ピットマン氏に師事する。

1978年より、「ハーグ・レジデンティ管弦楽団（オランダ）」「南西ドイツ放送交響楽団」「ベルギー王立モネ劇場交響楽団」「新日本フィルハーモニー」各首席奏者を歴任。その間、ソリストとしても世界各地で演奏し、『最高のバサーニスト』『最大のヴィルテュオーソ』と絶賛される。

バロックから現代までの幅広いレパートリーを持ち、特に、チェロやフルートの曲でも自在に演奏する驚異的なテクニックと音楽性は欧米の音楽界が注目し、賛辞を惜しまないところである。

現代曲の演奏家としても国際的に活躍しており、多くの作曲家から作品を贈られている。特に連続して芸術祭に参加した2回のリサイタル、また1992年ニューヨークでの現代日本作品によるリサイタルは高く評価された。

また、古楽器の演奏家としての評価も高く、バロックからロマン派時代までの各時代の楽器を使い分ける。1998年に名器「サヴァリー」で録音した、「ドゥヴィエンヌ・ソナタ集」は大きな話題となった。同年には文化庁派遣在外研修員としてヨーロッパで古楽器のリサーチを行っている。

さらに、19世紀の埋もれた作品のリサーチ・紹介も積極的に行っており、編集された、いくつかの曲がヨーロッパで出版されている。

ソリストとしての活動と併せて、「アンサンブル・ラミ」「東京ウィンド・ソロイスト」「アンサンブル・ソレル」を主宰し、室内楽の分野でも活躍。

また、ジュネーヴ音楽院（スイス）、パリ国立高等音楽院（フランス）、リヨン国立高等音楽院（フランス）、オスロ音楽院（ノルウェー）、スウェーリンク音楽院（オランダ）等、ヨーロッパの代表的な音楽院より招かれ、指導を行っている。フランダース・フェスティバル、マールヘッド音楽祭等、国際音楽祭への出演も多い。

これまでに、故J. プリッチャード卿、故A. フィードラー等の指揮による「ボストン・ポップス」「ロイヤル・ワロネー室内管弦楽団」「ベルギー国立歌劇場交響楽団」等、とコンチェルトを共演。またM. ペトリ、M. アリニョン、P. ピエルロ等多くのソリストと室内楽を共演。特に「20世紀バレエ団」と共演した「春の祭典」「兵士の物語」（EMIに録音）ではベジャールに絶賛された。

国内でもソロ・リサイタルの他「読売日本交響楽団」「札幌交響楽団」「九州交響楽団」「新日本フィルハーモニー」「ロイヤル・チェンバーオーケストラ」等と共演している。

CDはPavane、EMI、Astoria、Thorofon、Apollon、ALMより、発売されており、世界中で高い評価を得ている。